



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思ひます。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合つてほしいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思ひます。  
よろしくお願ひいたします。

## ★資料名

### 「金のおの」

## ★今回の道徳の授業のねらい

うそやごまかしをしないで、素直に伸び伸びと生活しようとする判断力を育てます。

## ★お話のあらすじと内容

前段は、神様が示した金や銀のおのに目をくらますことなく、自分のおのは鉄だとはっきり言うことのできた誠実なきこりの話です。

後段は、はじめから金や銀のおのを欲しいと思つて、わざと自分のおのを池に投げ込んで、神様をだまそうとしたきこりの話です。

両者を比較して、誠実なきこりの謙虚さを読み取れるようにします。

## ★子どもたちの授業のふりかえり

〇うそやごまかしをしないで、正直でいることの良さはどんなことだと思ひますか。

- ・正直にいたら、誰もみていないようでも、神様が見ていて、ごほうびがもらえる。いいことがあるような気がする。
- ・うそをついたら、神様が見ていてバチがあたるからしないほうがいい。
- ・正直にしていると、心がすっきりするし、気持ちが良い。
- ・後悔しないでいられるし、くよくよしないですむ。
- ・友達と仲良く楽しく生活できる。



## ★家庭で話し合つてほしいこと

過ちや失敗はだれにでも起こりうるものです。ご家庭でも軽い気持ちでうそをつく（いいわけなどをする）ような場合もあるかと思ひます。人が見えても見ていなくても、うそをついたり、ごまかしたりすることは自分にとってもうしろめたいことであることを、低学年のときからしっかりと身につけて、けじめのわかる人間に育てたいと思ひます。

ご家庭でも日ごろから、明るい心で楽しく生活させるためにもお子さんと正しく向き合つて、じっくり話し合うなどしてみてはいかがでしょうか。正直で素直に伸び伸びと生活できる態度を養うことが大切だと思ひます。